

牛久：学校周辺に見る自然

第10号 ひたち野うしく小、牛久自然観察の森

2010年5月24日発行

＜アブラムシをめぐる、生き物のつながり＞

前回予告しました、テントウムシやアブラムシなどのつながりについてお話したいと思います。

ひたち野うしく小4年生の観察で「テントウムシはどんな所にいるの?」と聞かれ、「今の時期は、アブラムシがたくさん付いているところを探すといいよ。」と答えると、一生懸命探していましたね。アブラムシがテントウムシのエサだということを知っている子もたくさんいました。

①アブラムシを食べるテントウムシ



左はセイタカアワダチソウにつく赤いセイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシを捕まえて食べるナナホシテントウ。次から次へと食べていきます。アップで見ると怖いくらいです。

右はギシギシにつくアブラムシを食べているナミテントウ。仲間が食べられていても、近くの他のアブラムシは逃げる様子がありませんでした。



テントウムシは幼虫もアブラムシを食べます。下左はヒメカメノコテントウ、下右はナナホシテントウの幼虫で、どちらも今年の今頃、牛久自然観察の森で撮影したもの。こちらも次々と食べていきますが、それでもアブラムシがいなくなるのは、それだけたくさんのアブラムシが次から次へと生まれてくるからなのでしょう。そのお話もいつかしてみたいですね。

【理科支援員
・宮内】

